



おおきに

ニュースレターVol. 18
2008.4発行
スペシャルオリンピックス日本・京都
〒604-8083
京都市中京区三条通柳馬場東入中之町2
京都YMCA内<3F>
TEL 075-211-1574 FAX 075-211-1590
HP <http://www.son-kyoto.com>
E-mail miyake3-2@nifty.com

"Let me win but if I cannot win Let me be brave in the attempt"

「私に勝たせてください。もし勝てないとしても頑張る勇気を持たせてください」

2008冬季NG・山形大会

団長 岡本尚男

山形までの片道約6時間の往復の旅は、日本列島が南北に長いことを実感するものでした。早春の京都から北国の風景へと移り変わる様は、詩情をそそられるものでした。

アスリート17名、コーチ10名、団長・副団長各1名、計29名の選手団は、3月7日7時30分に京都駅2階中央改札口に集合し、関係アスリートの保護者に見送られて定刻に出発しました。

現地では各都道府県別に案内のボランティアがつき、荷物の整理、などの世話から、開・閉会式までの準備の手伝いを手際よく指図されていました。開会式を待っている間、山形名物の丸くしたこんにゃく3個を串刺しにして醤油で炊き込んだもののもてなしを受けました。



開会式の入場行進は京都は13番目。山形市スポーツ総合体育館の観客席一杯の拍手に迎えられて行進しました。「今年NPO法人を目指して設立11年目を迎えます。この山形大会には鴨川の東西の河川敷で『鴨川トーチウオーク』を開催して、多くの協賛者や参加者からのご支援をいただきました。アスリートたちは精一杯頑張るでしょう」との紹介のアナウンスが会場一杯に響きわたり、一際大きな暖かい声援が送られました。

32地区及び設立準備委員会から、570名のアスリート、400名の競技役員、330名のコーチ、2,000名のボランティア、600名のファミリー、100名のゲストが「樹氷のように輝け この感動 この友情」の大会テーマのもとに集い、2009年にアイダホで開催される冬季世界大会の国内予選も兼ねていました。

会場は開・閉会会場以外は、蔵王温泉スキー場の竜王ゲレンデ・総合グラウンド(唐松コース)、ウエルサンピア山形屋内スケート場に分かれて開催されました。京都も競技別に分宿となりました。山形市内の雪はありませんでしたが、開会式のあと夫々のプログラム毎に、バスで宿舎に向う頃から横殴りの雪が舞っていました。

翌日からの予選は木本副団長と手分けして、スキー関係の蔵王方面とスケート関係の山形市内とに分かれての応援となりました。とりわけ1年間に1日か2日といわれるぐらいの好天気にも恵まれた蔵王の景色は参加者にとっては心に残るものでした。

2日間の競技は、予選も決勝も順調に進み、京都のアスリートたちは普段以上の練習の結果をだしました。成績などの詳細は別紙に譲りますが、アスリートたちは多くの参加者との交流を楽しみ友情を育み、ファミリーとコーチは精一杯の応援と指導、介助を行い、往復の道中も整然と行動し、楽しい思い出をお土産にして無事に帰京しました。

また、大会関係者の目に見えない配慮によって大会が支えられていたことを痛感しました。安全、安心を確保して細かいところまで配慮されていて有難いことでした。このような機会を支援していただいた多くの皆様に言い尽くせぬ心からの感謝を申し上げます。ありがとうございました。

アルペンスキー競技

寺井 洋一

アルペンスキー競技は蔵王スキー場で行われ、京都からはグランドスラローム（大回転）競技に4名が参加しました。ゲレンデに設置された赤と青色の十数か所の旗門を滑り降りる競技です。1日目の予選、2日目の決勝とも地元の人でも珍しいというお天気に恵まれ、ソニー生命と地元養護学校高等部の先生と生徒2名のボランティアの支援を受けて楽しく競技することができました。アスリート達の感想は次のとおりです。



北村 一

山形での体験として、開会式で試食コーナーのこんにやくとラーメンがおいしかった。そして、松浦あやの歌を聴いて僕はめっちゃめっちゃ感動しました。



寺井 昌央

初給GSLの決勝で23.71秒のタイムで5位に入賞できた。メダルとは0.29秒差、トップとは1.04秒差でした。閉会式で花笠踊りも出来て楽しかった。



阪本 明子

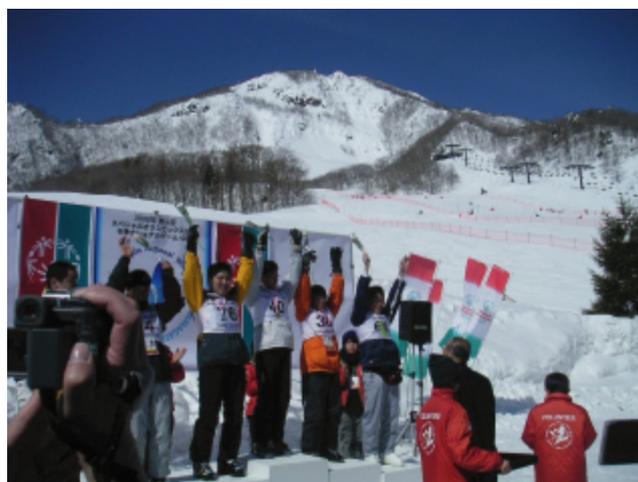
開会式でスペシャルゲストサポーター松浦あやの“絆”でみんなが輪になり感動しました。決勝では気持ちよく滑れて楽しかった。



小石 原聖

5 4 3 2 1 スタート審判のかけ声で僕はスキーの板をすべらせた。まっしぐらにゴールへ向かった。たくさんの方が応援してくれて大変うれしかった

4人とも予選より決勝のほうが力強く滑ることができました。滑り終わってほっとしたのか表彰のときの笑顔は大変素敵でした。今回このような楽しく競技会に参加できましたのはご支援いただきました皆様のおかげだと、感謝しております。ありがとうございました。



2008年第4回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム山形大会に応援に参加致しました。

息子がSOに参加するようになって4、5年経ちますが、今回初めて大きな大会に参加することになりました。親は宿泊場所も違うし、本当に皆と共同生活ができるのか？ うまく声かけをしてもらえるかなど不安ばかりの大会でしたが、寺井コーチから私の携帯に「息子さんちゃんとやっていますよ」の一言は本当に心強い思いがしました。

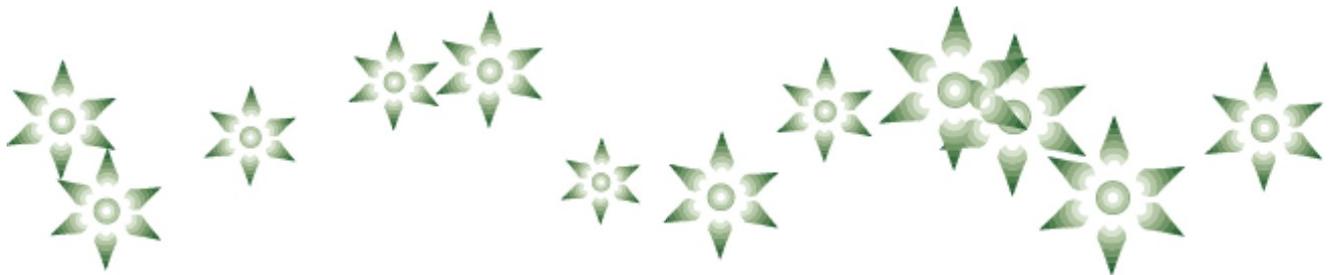
さて、競技の方ですが、中学校時代に練習したことがあるアルペンスキーを選びました。ちゃんと青い旗と赤い旗の間を滑ることができるのかとひやひやした思いでゴール前近くで応援していました。予選2本と決勝1本無事転倒することなく滑りきりました。そんな息子の姿をみて少し大きくなったような気がしましたが、これも親ばかりでしょうか。

競技後の表彰台でのアスリート達の表情はとても生き生きしており、見ているこちらが勇気と希望を頂いた思いです。

スペシャルオリンピックの「ナンバーワンではなくオンリーワン」を目指す考え方には感銘しました。どのアスリートにも樹氷のように光り輝く魂が宿っており、この世にとってかけがえのない存在です。

この大会を成功に導いてくださった大会関係者、コーチの方々、ボランティア、そして何よりもアスリートの皆さんに感謝致します。本当にありがとうございました。

ファミリー 小石原 郁夫



コーチの感想

NG山形大会のスノーシューイングのコーチとして参加させて頂きました。

色々な面からボランティアをしてくださった方々には本当に頭の下がる思いでした。

アスリートの親として今後どんなことが出来るのか、もっと考えていなくては感じた次第でした。

スノーシューイングコーチ・林 照美

今回の大会を終えてやはりスペシャルオリンピックス(SO)の活動は多くの皆様の応援、ご支援そして参加によって支えられてることを実感しました。「ありがとうございます。」そのなかでも今回はアスリートのがんばりに特に感謝したいと思います。スノーシューイングは雪上での練習は欠かせないのですが今回の大会に向けては十分な準備が出来てなかったのが現状です。そんな中アスリート達は自分の持てる力を十分に発揮して雪の上を走り抜けてくれました。最後のリレー競技では今回コーチとして参加、協力して頂いた林さん、そしてファミリーの皆さん、京都担当のADの方と一緒に気持ちをつなぎ競技を終えました。本当にありがとうございます。「アスリート達、ありがとう。」

スノーシューイングHC・森田隆信

フロアホッケーは開会式が行われた山形市総合スポーツセンター 体育館にてチーム競技、個人スキルコンテストの2競技が行われました。今回、京都からは個人スキルコンテストに6名のアスリートが参加しました。初日の予選、二日目の決勝共に各々アスリートは日頃の成果を出そうと

一生懸命でした。練習通りできたアスリートもいましたし、実力を発揮できなかったアスリートもいましたがやはり練習と違う雰囲気、緊張感のある中で競技出来たことはアスリートだけでなくコーチも良い経験をさせてもらえたと思います。

そんな中、京都での山形NG唯一の金メダルがフロアホッケーから出ました。個人スキルコンテストは、予選・決勝の二日間共に午前中で競技が終了してしまう為初日の午後にはHAPに参加しました。サングラスや眼鏡を貰ったり、スタッフと写真を撮ったりと競技以外のイベントでも楽しむことができました。

また、他地区のチーム競技の観戦もする時間が結構ありました。今回は個人スキルのみでの参加でしたが、アスリートからは次の大会はチーム競技に絶対に参加したいという声が挙がっています。コーチも皆、チーム競技での参加を実現させたいと思っています。

今後に向けての課題も見えてきました。今後のフロアホッケーの活躍にご期待ください。

フロアホッケーコーチ 西村隆志

アスリートの声

山形大会は他の地区の人達とかボランティアの人達と友達になり、いい思い出になりました。

決勝の時はすっごい天気だったので気持ちよく走ることが出来ました。100mでは緊張していましたが前を見たらたくさんの人達が「がんばれ！」っていう声が聞こえてとっても嬉しかったです。京都チームで四人うまく繋ぐことができて良かったです。リレーで京都チーム四人で走って二位になってすごく嬉しかったです。みんなけがもなく無事帰って来れて良かったです。山形大会では、コーチの方々、ボランティアの方々、応援して下さった人たちありがとうございました。中川理映子

開会式には松浦あやが来ました。楽しかった。

スノーシューイングは200mに出ました。リレーも走りました。銀メダルもらいました。

蔵王ではお風呂に入りました。雪がいっぱい寒かったです。閉会式で踊りました。中村寛晃

NG山形大会のスノーシューイングに参加しました。100m競争と400mリレーに出場しました。僕は頑張って走りました。雪の上を走ると気持ちがすっとしました。

お風呂の湯が熱かった。林 共幸

山形の蔵王は山がきれいでした。ご飯がおいしかったです。

松浦あやが来てうれしかったです。がんばりました。みんなありがとう。三宅大介

スピードスケート競技

3月8日（金）早朝にもかかわらず、選手団の皆様はいつもながらの笑顔で集合しました。

なかには不安げなアスリートもいました。選手団を見送ったあと私達は、約1時間遅れての出発でした。新幹線を使い、ようやく開会式会場の山形市総合スポーツセンターに到着したのは開会40分前でした。次々に入場する選手団に鳴り止まぬ拍手の渦。「樹氷のように光り輝け この感動 この友情」の大会テーマに則った盛大な開会式でした。

2日目は、スピードスケートとフィギュアスケートの会場、ウエルサンピアでの応援でした。

種目別の練習が始まり、和弘はなんとなく不調を訴えながらの滑りで、心配しておりました。

今回、和弘は111mの1種目のみのエントリーで、トラブルも無く2回の予選とも自己タイムで滑れました。

3日目の朝、種目別の練習が始まりリンクを周回しながら観客席に近づいた際、声をかけても笑顔が無く、きっと緊張していたのでしょう。いよいよ決勝が始まり、日頃の練習の成果を最大限発揮すべく、一生懸命滑るアスリート達に会場全ての人が声援を送っていました。和弘は健闘の結果銀メダルを獲得できました。黄色いコスチュームで身を包まれて爽快に氷の上を滑る姿は、まるで別人のようでした。表彰式では、メダルをかけられた瞬間「そんなの関係ねえ、オッパッピー」のパフォーマンスで、締めくくりました。

皆様の支えがあってスケートが続けられて、このような素晴らしい大会に出場できたことに感謝です。長野の世界大会で出会ったアスリートや、お世話になりましたコーチにも会うことができました。また、いつも練習プログラムで技術指導をいただいておりますコーチの皆様、そして山形の大会ではマンツーマンで引率いただきました、ヘッドコーチの磯部様に感謝申し上げます。

スピードスケートの応援 ファミリー 野田泰伸・君子



スペシャルオリンピックス日本・京都 バレーボール競技会開催！！

2008年6月、「第1回 SON・京都バレーボール競技会」を開催することになりました。今回のバレーボール競技会は、各地区で日常のスポーツプログラムに参加しているアスリートを京都に招き、日常の成果を発表するとともに、互いに交流を深めることを目的として実施いたします。また、アスリート達にとって競技会を通じて様々な経験を積み、社会性を高められる機会に、地域社会においてはスペシャルオリンピックスの知名度を高め活動の輪をさらに大きく広めるとともに、より一層の理解とより多くの人たちの心のバリアフリーを促進する機会としていきます。

- 競技会名称 2008年 スペシャルオリンピックス日本・京都 バレーボール競技会
- 主催 スペシャルオリンピックス日本・京都
- 主管 スペシャルオリンピックス日本・京都 バレーボール競技会実行委員会
- 招待地区 SON・熊本、SON・大分、SON・宮城
- 開催期日 2008年6月7日（土）～6月8日（日）
- 会場 競技会場 京都市立御池中学校
交流会場 ルビノ京都堀川
- 後援・協力（予定） 京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会
京都市御池中学校、京都市御池中学校PTA

■お知らせ&事務局ニュース

【会費納入のお願い】

おかげさまでスペシャルオリンピックス日本・京都は3月に京都府から特定非営利法人の認可を得、4月に無事設立いたしました。特定非営利法人に組織変更したことに伴い会費等の若干の変更がございます。後日、特定非営利法人スペシャルオリンピックス日本・京都への入会及び会費納入の案内をさせていただきますのでよろしくお願い申し上げます。定款上、特定非営利法人に関わるアスリート・ファミリー・ボランティア・個人・企業・団体の全ての方々は、全て会員となります（寄付のみをされる個人・企業・団体を除きます）。まず会員各位に会員の種別の選択をさせていただき、これに応じて賛助金・会費等を納入して頂くこととなります。

※ 定款に規定された会員の種別は以下のとおりです。

定款 第3章 会員 第6条（種別）

- | | |
|----------|---|
| ① 正会員 | この法人の目的に賛同し、維持発展に寄与するもので、個人及び団体とする。
(総会で議決権を有するアスリート・ファミリー・ボランティア並びに会員) |
| ② 特別会員 | この法人の目的に賛同し、維持発展に寄与するもので、諸活動に積極的に参加する個人及び団体とする。
(アスリート・ファミリー・ボランティア) |
| ③ 特別賛助会員 | この法人の目的に賛同し、維持発展に寄与するもので、諸活動に積極的に参加し、賛助金を納める個人及び団体とする。
(賛助金を支払うアスリート・ファミリー・ボランティア) |
| ④ 賛助会員 | この法人の目的に賛同し、賛助金をもって参加する個人及び団体とする。(①②③に該当しない賛助金を支払う会員) |

アスリート・ファミリー・ボランティア・個人・企業・団体の種別ごとに納入をお願いする会費等は以下のとおりです。いずれの方も会員の種別を選択して頂くこととなりますが、できるだけ正会員になっていただきますようお願い申し上げます。

◎アスリート・ファミリー並びにボランティア

①正会員（総会で議決権を有します） か ②特別会員 または ③特別賛助会員 を選択してください。

①正会員を選択された場合	入会金	5,000円（入会時のみ）
	年会費	一口 5,000円（1口以上）
②特別会員を選択された場合	入会金	0円
	年会費	0円
③特別賛助会員を選択された場合	賛助金	一口 3,000円（1口以上）

◎その他の個人並びに企業・団体

①正会員（総会で議決権を有します） または ④賛助会員 を選択してください

①正会員を選択された場合	入会金	5,000円（入会時のみ）
	年会費	一口 5,000円（1口以上）
④賛助会員を選択された場合	入会金	0円
	個人賛助金	一口 3,000円（1口以上）
	企業・団体賛助金	一口10,000円（1口以上）

以上、会費納入の件、よろしくお願い申し上げます。